

創業80年以上、八百屋魂を 貫いておられます！

2010.6.23訪問



青年部員のための 事業所に行きまいた

第六回 八百桂商店さん

今回は、現在青年部監事でお報交流委員の広江一昭さんが
きりもりされる八百桂商店にお邪魔させていただきました。

(取材・文・金森 隆志)

訪問してみて

店内以外に調理場も想像したよりも設備されており、自家製の惣菜や、焼き物、揚げ物などを仕込む場所が広く取られており、ただ単純に仕入れて売るだけの商売ではないことを思い知らされました。



八百桂商店は昭和2年に創業され、ひいおじさんの代から今に引き継がれております。ひいおじさんのお名前が桂作というお名前です。そこから八百桂という名前になったそう。



「オレのシキト」について教えてください

うれしく思っています。

自家製のお惣菜、お刺身など、お客様「、」の質問した◎◎がとてもおもしろかった、今日もある。「なんていう些細な会話の中のお褒め言葉がとてもうれしい。」

ツライことは？

鮮度が決める商品(特に牛肉や魚などの商品)が売れると思いが売れたが、思うように売れなかつたりすること。また、無い時に限ってお客様に求められるときなど。待つ商売なのでその判断が難しい。

仕事を通して学んだことは？

八百屋だけに多種多様な商品知識があるのが自慢の広江さん。中でも野菜や魚など「何が旬」なんて話をさせたら、この紙面ではまとめられない。八百桂商店に行ってみるほうが早いでしょう。

お客様との一番の思い出は？

滅多に連休など取らない八百桂さん、しかし、仕方なく私用でまた三日間連休をとるじゅうじゅう。そしたら常連のお客様に「私は八百桂さんの商品で生活しているようなものだ、食べるものがなくて困った。」と言われ、自身を頼りにしてくれている方がいることを感じたじゅうじゅう。

これから八百桂商店の展望は？

息子さんがおられる広江さん。「将来、継いでもらえぬように、仕事に対する自分を魅せていきたい。」とのこと。八百桂商店はまだまだ一五〇年くらい続くことになるでしょう。かっ、いや永遠に？

取材にお邪魔して一言

80年以上、八百屋さんとして賣かれていた八百桂さん。以前、笠松町には10軒を越すほどあちこちに、八百さんがあったそう。しかし、近年は大型ショッピングセンターの著しい発展にともないその数は半数以下に。しかし八百桂さんは、お年寄りやお一人暮らし向けのお客様のニーズに答えるべく小分け商品(少なめの一人で食べられる)を数多く陳列したり、見たからにスーパーなどで売られているよりワンランク上の商品(惣菜、焼き物、お刺身など)を作っておられたり、それらを不自由な方に配達するなどの地域密着型の気配りをされ、今なお、お客様に支持されているのです。

価格競争ばかり先行してしまっている現代、八百桂さんにお邪魔して思ったのはこんなお店がある意味見逃してしまっていたという、もったいない気持ちになりました。「安きやいって」逆にソソに思ったのです。それはスーパーと違って、いいもんを出しているんですよ、明らかに。鮭の切り身なんかも厚く切ってあったり、刺身なんかも色鮮やかなんですよ。

そんな私は早速「買い物力」をもってお買い物♪私や妻が好きなマグロやトロ、ヌさはなどのお刺身、子供が大好きなとろろ肉の骨付きの照り焼き、あとは惣菜にお漬物……。その晩、家族でみんな「違うね、やっぱり。」と、とてもおいしくいただきましたよ♪皆さんもご家族のおられる方は、ご家族に買って一緒に料理すれば喜んでもらえること間違いなし!お一人の方はご自身のお済みでも買いに行ってみられては??



ヨソでは見かけない商品や新鮮なお刺身などあって、さすが私もお買い物しちゃうました♪店内は以外にひろーい。笠松の八百屋イチでしよう!
皆さんも是非いかがでしょうか?八百桂行っの作り方なんか聞いてちゃって家族にサフライスっていつのもアリかも!



立ち姿が一段とりりしい

八百桂商店 広江さんの連絡先

所在地 笠松町弥生町29番地

電話 058-3888-2824

やっぴーさんカード取扱店

営業時間 10時から19時

定休日 日曜日

お電話にてお奨めの商品案内します!